

平成31年3月26日

広報資料

舞鶴市長 多々見 良三

[担当] 人事課長 三方 理江

電話 66-1066

内線 1342

平成31年度 組織改編 と 人事異動 について

都市像に「ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市 MAIZURU」を掲げる「第7次 舞鶴市総合計画」がスタートします。

「次代を担う子どもたちに夢と希望を お年寄りには感謝を」を基本理念とし、市民と行政が、ともに未来に向けた「ひとづくり」「まちづくり」に取り組む「未来を拓くまち」を目指すこととしており、そのために必要な **組織改編 と 人事異動** を行います。

1. 副市長

副市長 堤 茂 氏の任期満了に伴い、堤 茂 氏を、議会同意を得て、副市長に任命する予定です。

堤 茂 氏の豊富な行政経験、卓越した行政手腕のもと、山口 寛士副市長とともに、全職員が一丸となり、今後の市政運営に取り組んで参ります。

つつみ しげる

堤 茂 昭和30年11月12日生 63才

昭和54年 3月 立命館大学工学部卒業

昭和54年 4月 舞鶴市職員

平成23年 4月 舞鶴市企画管理部長

平成27年 3月 舞鶴市退職

平成27年 4月 舞鶴市副市長

2. 組織改編

第7次 総合計画の推進

(1) 先端技術を活用した「便利な田舎暮らし」

「舞鶴版 Society 5.0 推進本部」の新設

先端技術（AIやIoT）を活用して、人と人との繋がりや助け合い、互いを思いやる「共助」の仕組みを創出し、地域課題の解決を図る未来型のスマートなまち「便利な田舎暮らしができるまち」を目指すため、全庁的な組織 **舞鶴版Society 5.0推進本部** を設置する。

(2) 「エネルギー事業」の拠点化

「京都舞鶴港エネルギー事業推進担当課長」の新設

木質バイオマス発電など再生可能エネルギーを活用した取り組み、LNG基地の誘致、メタンハイドレートの活用など、京都舞鶴港の「エネルギー事業拠点化」の施策を総合的に進めるため、みなと振興・国際交流課に **京都舞鶴港エネルギー事業推進担当課長** を配置する。

(3) 「子育て環境日本一」を目指して

「子ども総合対策室」の新設

「子育て環境日本一」を目指すため、「子どもの豊かな育ちを支える環境づくり」「親と子が安心して健やかに過ごすことができる環境づくり」など、豊かな育ちに関する多様な取り組みを、総合的かつ効果的に推進するため、健康・子ども部に **子ども総合対策室** を設置する。

「乳幼児教育センター」と「舞鶴こども園」の新設

乳幼児の一貫した育ちと学びを支援するため、舞鶴幼稚園と西乳児保育所を集約し、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ 幼保連携型認定こども園 **舞鶴こども園** を開設するとともに、乳幼児教育の質の向上を図る拠点施設として、舞鶴こども園に **乳幼児教育センター** を併設する。

「生きる力を育み夢をかなえる教育推進本部」の新設

教育振興大綱や乳幼児教育ビジョンには、基本理念「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実」を掲げており、子どもの豊かな育ちの連続性を確かなものとするため、市長部局と教育委員会が一体となった組織 **生きる力を育み 夢をかなえる 教育推進本部** を設置する。

女性活躍の推進

「男女共同参画担当課長」の新設

男女が互いの人権を尊重しながら、平等に参画し、個性に応じて能力が発揮できる社会を推し進めるため、女性の社会参画促進とワークライフバランスの推進に関する様々な事業を、総合的かつ効果的に推進するため、啓発推進課に **男女共同参画担当課長** を配置する。

行財政改革の推進

「改革推進課」の新設

これまでの行財政改革の歩みを確実なものとし、持続発展可能なまちづくりの基盤を整えるため、新たに市長公室に **改革推進課** を設置し、公共施設のあり方、事業運営の見直し、組織運営の効率化など、多岐にわたる改革案件に、スピード感をもって取り組む。

市民、地域との協働

「公民館担当課長」の新設

公民館では、市民とともに、地域が抱える課題の解決にあたりとともに、地域に誇りと愛着が持てる事業や講座など学びの場を提供しており、この取り組みを更に進め、地域づくりを担う人材の育成を図るため、地域づくり支援課に **公民館担当課長** を配置する。

「消防団担当課長」の新設

地域防災に消防団が果たす役割は大きいですが、人口減少、少子高齢化等により、消防団員の確保が課題となっており、これら状況を踏まえ、地域の守りの要である消防団の更なる充実と強化を図るため、消防本部に **消防団担当課長** を配置する。

多様な主体との連携

「国土交通省近畿地方整備局職員」の配置

国と強固な連携のもと、日本海側拠点港である京都舞鶴港の機能向上を図るため、平成29年度から、国土交通省近畿地方整備局職員を任用（割愛退職）しており、平成31年度においても、みなと振興・国際交流課に配置する。

京都府北部地域連携都市圏「福知山市」との人事交流

京都府北部地域連携都市圏ビジョンを推進し、連携推進を更に深化させるため、平成30年度の京丹後市との人事交流に続き、平成31年度は福知山市と人事交流を実施し、京都府北部5市2町の更なる情報の共有と事業の推進に取り組む。

7月豪雨 被災地「呉市」へ職員派遣

7月豪雨によって甚大な被害を受けた呉市に対し、旧軍港四市（舞鶴市、横須賀市、呉市、佐世保市）締結の「災害時における旧軍港市相互応援に関する協定」に基づき、平成30年10月から、土木技術職員を派遣しており、平成31年度においても、継続して派遣する。

組織数の増減

| 組織 | 組織数 | 増減 |
|------|-----|----|
| 公室、部 | 11 | なし |
| 室 | 13 | 1増 |
| 課 | 55 | 1減 |
| 係 | 135 | 5減 |

病院、消防を除く

3. 人事異動

職員一人ひとりが持てる能力を最大限発揮できるよう、適材適所の職員配置を行うとともに、女性職員の活躍推進に積極的に取り組み、「職員の意識改革」と「組織の活性化」を目指す人事異動を行う。

(1) 人事異動の規模

職員 810名 の内、276名 の異動

(2) 退職者と採用者

平成30年度の退職者は 40名、平成31年度の採用者は 21名

(3) 職員数の増減

職員数は 829名 から、810名 へ、19名の減

(4) 女性職員の活躍推進

市役所は、子育て、教育、福祉、医療、防災など、市民生活に密着した様々な行政を担っており、その政策や施策を決定する過程に多くの女性が参画することは、多様な価値観、生活者目線での政策立案に繋がるという重要な意義を有しており、女性職員の活躍推進に積極的に取り組んでいる。

職員 に女性が占める割合 39.2%

係長級 に女性が占める割合 35.2%

管理職 に女性が占める割合 16.9%

※ 病院、消防を除く